

## 授業料不徴収協定に基づく派遣交換留学 終了報告書

所属(本学)	工学院 機械系 機械コース		
現在の学年	修士1年		
留学先国	オランダ	留学先大学	デルフト工科大学
留学期間	2016年8月19日～2017年7月29日		

### ① 留学先大学(機関)の概略

デルフト工科大学はオランダ国内、ヨーロッパ内だけでなく、世界的にも名を馳せている有名な理工系の大学である。中でも豊かな国際色は他の大学と一線を画すると感じた。学部生はほとんどがオランダ人であるが、大学院生の4割は留学生である。特にイタリア、スペイン、ギリシャなどの南欧、中国、インド、アメリカからの留学生が多い。それに比べて日本人留学生がかなり少ないということも特徴に挙げられる。他の特徴としては世界一を獲得している学生チームが数多くあるということがある。2016年度に話題になったこととしてはイーロン・マスクが提案しているハイパーループという新輸送システムのコンテストにてMITを破って一位を獲得したことが挙げられる。小さな特徴としては多くの学生が大学まで自転車で10分ほどの近隣地域に住んでいる。

### ② 留学前の準備

私の場合は学部4年時に派遣交換留学を決意し、そこから1年ほど留学準備をして修士1年の夏から留学を開始した。元々修士修了を1年延長する予定であった。留学先の選択としてはヨーロッパで生活してみたかったので、ヨーロッパの大学から選ぶことを確定していた。世界的にも有名な大学かつ英語で日常生活も学生生活も送ることができる大学を探した結果、デルフト工科大学にたどり着いた。所属先としては当時行っていた研究に近い化学工学専攻に所属した。留学概要としては授業も受講しながら研究も行う予定であった。

留学の準備としては語学要件を超えることが一番の難題であった。初めてTOEFLを受けたときはTOEFL iBTで68くらいであったが、約6か月ほどかけて98まで伸ばすことができた。

就職活動、修士論文などは留学から帰ってから本腰を入れて行い、留学先では留学中にしかできないことに集中したかったため、修士課程を1年間伸ばす予定で留学準備をした。

住居はこれまでのデルフトに留学した先輩方が述べている通り、DUWOというオランダの住居紹介サービスを介して選択した。DUWOを使うと仲介料を取られ、学生寮しか選ぶことができないが、簡単かつ安心である。別の方法としては、Facebook上にあるデルフトの住居グループを使うというものがあり、こちらの方が安価かつ自由に住居を選択することが可能であるが、オランダは慢性的な住居不足なので、留学前に確実に住居を決めることができるかわからない。詳しく知りたい方は私か他のデルフト留学経験者に聞いてほしい。

### ③ 留学中の勉学・研究

私の留学体験が多くの派遣交換留学生と異なる点として、留学中にやりたいことが変わり、思い切って専攻を変更したことを挙げることができる。そのため、留学前に検討していた授業の受講も、研究室所属もやめた。専攻変更先は東工大から留学することができないIndustrial Design and Engineering(IDE)であったため、授業登録が他の学部の登録法式とは少し異なっていて、変更当初苦労した。しかしながら、デルフト工科大学の大学院の約4割がオランダ人以外ということと、IDEの授業はほぼ全てがグループワークであり、中には半年間続く授業もあったということがあり、東工大では体験できない多くのことを経験した。オランダ人、ヨーロッパの人の一般的な気性ということもあるが、自分の意見を驚くほど直接的に伝えてくるので喧嘩することも多々あったが、異なるバックグラウンドを持つ者同士が協力するからこそ得ることができた結果を授業で出した。

また、専攻を変更したことは日本では特殊なことから考えられることがしばしばあったが、オランダという合理的に自分のやりたいことをやっている国において自分は正しい選択をしたのだと考えることができた。留学中に専攻を変更するという自分の中では大きな決断を下したこと、

そしてそこから学んだことは、現在の自分に多大なる良い影響を及ぼしているので全く後悔していないし、それを後押ししてくれたオランダの環境、友人達に大いに感謝している。

#### ④ 留学中に行った勉強・研究以外の活動

私が大学入学前にテニス、ストリートダンスをしていたことに起因するが、留学先でも息抜きとして良く友達とテニスとダンスをした。また、元々海外旅行が好き、せっかくヨーロッパにいるから日本からはなかなか行けないところに行きたいということがあり、留学中にイタリア、スイス、スペイン、ポルトガル、モロッコ、南アフリカに旅行した。

#### ⑤ 留学を終えて、自分自身の成長を実感したエピソード

日本の常識に捕らわれずに自分のやりたいことに尽力することができている。留学前の自分では挑戦しなかったであろうことを就職活動、学内のイベントで行っている。それを通じて自分が興味があることには果敢に挑戦するようになったということを感じている。

#### ⑥ 留学費用

渡航費は往復で 20 万円弱、生活費は家賃含めて毎月約 10 万円、奨学金はトビタテ！留学 JAPAN から毎月 14 万円を受けとっていた。

#### ⑦ 留学先での住居

上記でも記した通り、DUWO を介して学生寮に住んでいた。

#### ⑧ 留学先での語学状況

TOEFL iBT で 98 を取得していたが、留学当初はオランダ人、デルフト工科大学にいる他の留学生に比べると全く話せない状況であった。個人的には留学 3 か月、6 か月、9 か月と3か月ごとに語学力が飛躍的に向上した気がする。最終的には他の留学生と比較してもそこまで大差ないくらいに英語が話せるようになったと思う。

#### ⑨ 単位認定(互換)、在学期間

留学中に取得した単位の認定は専攻がかなり異なるということもあり、東工大で行っていない。在学期間は上記でも述べたが、1年間伸ばす。

#### ⑩ 就職活動

帰国後は自分のやりたいことを譲らずに就職先を探している。留学先からは日本帰国時に参加したい企業のインターンシップに応募した。

#### ⑪ 留学先で困ったこと(もしあれば)

オランダ、デルフト情報の少なさ。専攻変更をした例がなかったから、どうしたら良いのかわからなかった。

#### ⑫ 留学を希望する後輩へアドバイス

日本の一般常識に捕らわれずにやりたいことを実行してください。きっとあなただけの留学、選択肢が見つかります。